

桑名市就学前施設再編実施計画

平成25年6月

桑名市

- I 実施計画策定にあたって
- II 就学前教育をめぐる本市の取組と平成24年答申
- III 就学前教育をめぐる国の動き
- IV 現状と課題
 - 1 公立幼稚園について
 - 2 公立保育所について
 - 3 私立幼稚園について
 - 4 私立保育園について
 - 5 私立と公立の共存について
- V 幼児数の将来推計
- VI 本市における就学前教育の理念
 - 1 本市のめざす就学前教育
 - 2 就学前施設再編のキャッチフレーズとイメージ図
 - 3 「子どもの笑顔と保護者の安心」のために

- VII 実施計画の方向性と内容
 - 1 計画の方向性
 - 2 将来構想
 - 3 平成30年度までの計画
 - (1) 公立幼稚園の再編について
 - (2) 認定こども園の設置について
 - (3) 具体的な配置について
 - (4) 再編に伴う具体的な対応について
 - ①園の選択
 - ②通園方法
 - ③保育時間
 - ④預かり保育
 - ⑤閉園となる幼稚園舎の活用
 - ⑥再編後の園の整備
 - ⑦再編後の園の名称
 - ⑧4歳児定員
 - (5) 年次計画について

- <資料編> 【資料1】 将来構想における公立幼稚園の配置（イメージ）
【資料2】 11園の具体的な配置について
【資料3①～⑨】 中学校ブロック別再編計画
【資料4】 11園に再編時の配置・対象児・保育時間等について
【資料5】 小・中学校区別 年齢別人数（平成25年4月現在）
【資料6】 公立幼稚園別住基数・園児数・就園率（5歳児）

I 実施計画策定にあたって

乳幼児期は、子どもたちが健やかに育ち、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる重要な時期であり、自主性と社会性を育むための適切な環境の中で教育を行うことが極めて大切である。

しかしながら、核家族化や少子化の進行、保護者の就労状況の変化等、子どもと子育て家庭をとりまく社会環境が大きく様変わりする中、公立幼稚園では年々園児数が減少し、休園となる園が出るなど、子どもたちの社会性を育むための望ましい集団の確保が喫緊の課題となっており、早期の対応が求められている。

また、国の「子ども・子育て新システム検討会議」において、幼保一体化を含む新たな次世代育成支援のための包括的・一元的なシステムの構築について検討が重ねられるなど、就学前教育をめぐる国の動向について、幼稚園・保育所・保育園関係者から注目が集まる状況にある。

本実施計画の策定に先立ち、教育長の諮問を受け、学識経験者、地域関係者、公・私立幼稚園・保育所・保育園関係者等による「桑名市就学前施設再編検討委員会」が平成22年9月に設置され、約2年に渡る協議を経て、平成24年8月22日に「桑名市就学前施設の再編に関する答申」が出されている。

答申と時期を同じくして、国においては、認定こども園の拡充を柱とする子ども・子育て関連3法が成立し、市として新たな対応が求められているところでもある。

本実施計画は、先の答申の趣旨を十分踏まえつつ、国の動向も見据えながら、「子どもたちの育ち」を中心に定めていくものである。

Ⅱ 就学前教育をめぐる本市の取組と平成24年答申

平成17年 8月

「桑名市就学前教育検討委員会」設置

- ・教育長の諮問を受け、「子どもを取り巻く環境の変化を踏まえた今後の就学前教育の方向性」「桑名市就学前教育の充実のための総合的・具体的な展開」の2つの事項について協議開始。

平成18年 12月

「桑名市総合計画」策定

- ・平成19年度から28年度までの10年間の計画として策定。
- ・就学前の保育・教育に関する内容として、「就学前教育の充実」と「子育て支援サービスの充実」を掲げる。
- ・「就学前教育の充実」では、「新しい保育・教育ステージの創出」「遊びを中心とした教育過程の創造」「幼児がともに育ちあう環境整備の構想」の3点を明記。
- ・「子育て支援サービスの充実」では、「保育所及び多機能子育て支援施設の整備」「保育サービスの充実」「子育て支援に関する情報提供・相談の充実」の3点を明記。

平成19年 4月

「桑名市就学前教育検討委員会」答申

- ・「桑名市における就学前教育の今後のあり方について」を答申。
- ・桑名市における就学前教育の理念と就学前教育の構想を明記。「就学前教育の構想」の中で、「桑名市の就学前施設の適正配置に関する基本構想」「園児数の減少した公立幼稚園の処遇」「カリキュラムの作成」「公立と私立の共存」「職員の交流及び研修」「市民の理解の拡大」の6点について明記。
- ・休園の基準は「概ね10人以下の園児数が複数年継続した場合」と明記する。

平成22年

1月

「桑名市共通カリキュラム」公表

- ・乳児期から就学前までの一貫した内容としてカリキュラムを作成。

9月

「桑名市就学前施設再編検討委員会」設置

- ・「桑名市就学前教育検討委員会」の答申の具現化をさらに進めるため、教育長の諮問を受け、学識経験者、地域関係者、公・私立幼稚園・保育所・保育園関係者等からなる「桑名市就学前施設再編検討委員会」を設置。
- ・「公立幼稚園の適正配置」「幼保一元化の取り組み」「公立幼稚園における学級の適正規模と複数年保育」「私立と公立の共存」「その他事項」の5つの諮問事項について協議開始。

平成24年

1月

「桑名市総合計画後期基本計画」策定

- ・平成24年度から平成28年度までの5年間の新たなまちづくりの基本となる施策や事業等をまとめる。
- ・「就学前教育の充実」と「子育て支援サービスの充実」を掲げる。
- ・「就学前教育の充実」では、「就学前教育の望ましいあり方について検討」や『「桑名市就学前施設再編検討委員会」の答申をもとに、子どもたちの社会性を育むための望ましい集団の確保をめざし、幼保一元化も含めた就学前施設の適正配置に向けて検討』を明記。
- ・「子育て支援サービスの充実」では、「就学前施設の適正配置に向けて幼保一元化を検討」を明記。

8月

「桑名市就学前施設再編検討委員会」答申

- ・全19回の検討委員会の協議を「桑名市就学前施設の再編に関する答申」としてとりまとめる。※答申の概要は次ページに掲載。

「桑名市就学前施設の再編に関する答申」の概要

1 公立幼稚園の適正配置について

○現在24園ある公立幼稚園を再編し、5年後の公立幼稚園の目指す姿として、下記の2案を併記することにした。

◎再編後の公立幼稚園の園数を11園とする

◎再編後の公立幼稚園の園数を5園とする

○園の形態・通園学区について

・原則独立園とし、現在5歳児について設定されている通園学区は廃止する。

○通園方法について

・再編後の通園方法は原則保護者送迎とする

2 幼保一元化の取組みについて

○国の動向について、十分注視しながら、慎重に検討することが必要である。

○公私にわたって、幼保一元化を含めた研修の機会の充実が必要である。

3 公立幼稚園における学級の適正規模と複数年保育について

○公立幼稚園の再編を行うに当たって、理想とする園の規模としては、1学級20人～30人程度、異年齢の連続した保育、各年齢2学級程度が適当である。

○実際の園の規模は、私立と公立の共存、配置のバランス、既存園舎の活用等の観点から、実情に応じた対応が必要である。

4 私立と公立の共存について

○多様な形態の就学前施設の中から、保護者が、子どもや家庭の状況に応じて幅広く選択できるような環境づくりを進めていく。

○公費支出などの公私間格差是正をはじめとする就学前教育の振興のための協議の場など必要な方策の構築が望まれる。

5 その他事項について

(1) 預かり保育について

○実施に当たっては、保護者のニーズや私立保育園・幼稚園の状況を考慮しながら、今後とも検討を重ねる課題である。

(2) 公私の保護者負担是正について

○削減される経費については、公私の保護者負担の格差是正をはじめとする就学前教育の振興のために充て、かつその仕組みづくりに努められたい。

(3) 閉園となった幼稚園の施設の活用について

○当該地域のニーズに即したかたちで有効に活用されたい。

Ⅲ 就学前教育をめぐる国の動き

平成18年 6月

「認定こども園法」成立

- ・地域の実情や保護者のニーズに適切・柔軟に対応するため、就学前教育の新たな選択肢として、「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律（「認定こども園法」）が成立。

12月

教育基本法改正

- ・幼児期の教育について新たに規定。
※第十一条「幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることにかんがみ、国及び地方公共団体は、幼児の健やかな成長に資する良好な環境の整備その他適当な方法によって、その振興に努めなければならない。」

平成20年

3月

幼稚園教育要領改訂（文部科学省）

- ・発達や学びの連続性を踏まえた幼稚園教育を充実
- ・幼稚園生活と家庭生活の連続性を踏まえた幼稚園教育を充実
- ・子育て支援と預かり保育を充実

3月

保育所保育指針改訂（厚生労働省）

- ・厚生労働省局長通知から厚生労働省告示へ
- ・教育の内容についても、幼稚園教育要領との整合性を図る

平成21年

3月

「今後の認定こども園制度の在り方について」公表

- ・認定こども園制度の改革の方向や財政支援の充実、二重行政の解消等の課題への対応を盛り込む。

12月

「明日の安心と成長のための緊急経済対策」閣議決定

- ・幼保一体化を含めた保育分野の制度・規制改革

- 平成22年 1月 **「子ども・子育てビジョン」閣議決定**
- ・「チルドレンファースト」の考えが掲げられる。
 - ・「すべての子どもがどこに生まれても質の確保された幼児教育や保育が受けられるよう、幼児教育、保育の総合的な提供（幼保一体化）を含めて、子どもや子育て家庭の視点に立った制度改革を進める。」
- 4月 **「子ども・子育て新システム検討会議」設置**
- ・幼保一体化を含む新たな次世代育成支援のための包括的・一元的なシステムの構築について検討を行う。
- 6月 **「新成長戦略」閣議決定**
- ・「21世紀日本の復活に向けた21の国家戦略プロジェクト」の1つに「幼保一体化等」が掲げられる。
- 平成24年 8月 **「子ども・子育て関連3法」成立**
- ・「子ども・子育て支援法」
「認定こども園法の一部改正」
「関係整備法の一部改正」の3法
 - ・主なポイントは
「認定こども園制度の改善」
「認定こども園、幼稚園、保育所を通じた共通の給付及び小規模保育等への給付の創設」
「地域の子ども・子育て支援の充実」

IV 現状と課題

1 公立幼稚園について

(歴史的経緯)

本市における幼稚園教育は、古くは明治時代にまでさかのぼり、大正8年9月に当時桑名町大字常盤町の篤志家の寄付により桑名幼稚園が設置された。

昭和22年の新教育体制の開始に伴い、昭和23年に6園が設置されている。その後、周辺村との合併や、昭和40年台半ばから50年台半ばにかけての人口の増加や第2次ベビーブーム等の影響による幼児数の増加に伴い、小学校の分離新設に併せて公立幼稚園も開設され、平成7年には旧市の公立幼稚園は19園となった。平成16年には、旧桑名市・多度町・長島町の1市2町の合併があり、現在の24園体制となった。各園で定期的に園開放を実施するなど、未就園児に対する子育て支援も実施している。

(旧市の公立幼稚園の特長)

旧市においては、5歳児の1年保育と小学校の6年教育とを合わせた幼小7年教育の考え方のもと、小学生との日常的な交流や分団登園を実施するなど、小学校との併設という特性を生かした特色ある取り組みを行ってきた。また、19園のうち6園では4歳児保育を実施している。

(多度地区の公立幼稚園の特長)

多度地区においては、昭和53年に多度幼稚園が設置されている。その後、平成15年の改築の際、多度保育所と園庭を挟んで向き合う形で設置されたことにより、園庭等の施設の共用や園児同士の交流を行っている。また、保育所園児と共に通園バスによる送迎を行っている。多度幼稚園においては、5歳児1年保育を実施している。

(長島地区の公立幼稚園の特長)

長島地区においては、昭和35年に長島北部幼稚園が長島北部小学校と併設で設置された後、小学校から独立した形の幼稚園として各小学校区に設置され、現在では3小学校区に4園が設置されている。なお、長島地区の4園については、各園4・5歳児2年保育を実施している。

(園児数)

平成24年5月現在で公立幼稚園に通園している園児は、4歳児が195人、5歳児が446人となっている。

(課題)

近年の少子化に加え、社会情勢や保護者の就労状況の変化等により、公立幼稚園において園児数が年々減少している。平成24年5月1日現在で、5歳児の人数が10人に満たない園が4園、10人台の園が6園となるなど、子どもたちの社会性を育むための望ましい集団規模の確保が難しい状況となっている。また、園児数の減少に伴い、24園中2園が休園となっている。【表1】【表2】

市全体では、20年前と比較すると、現在の5歳児の園児数は、当時の約半数程度となっている。【表3】

【表1】公立幼稚園の園児数 (H24.5.1 現在)

単位：人

園名	4歳児	5歳児	園名	4歳児	5歳児
日進幼稚園		22	精義幼稚園		9
立教幼稚園	15	11	城東幼稚園		休園
益世幼稚園		13	修徳幼稚園	18	19
大成幼稚園	26	29	桑部幼稚園		12
在良幼稚園	16	29	七和幼稚園		40
深谷幼稚園		22	久米幼稚園		24
城南幼稚園		13	大和幼稚園		休園
大山田東幼稚園		33	大山田北幼稚園	48	24
大山田西幼稚園		32	大山田南幼稚園		14
藤が丘幼稚園	29	22	多度幼稚園		37
長島北部幼稚園	8	9	長島中部幼稚園	16	21
中部第二幼稚園	6	4	伊曾島幼稚園	13	7

【表2】公立幼稚園の休園状況

年度	休園
H20	大和幼稚園
H21	大和幼稚園、精義幼稚園
H22	大和幼稚園
H23	大和幼稚園
H24	大和幼稚園、城東幼稚園

【表3】公立幼稚園の5歳児園児数の推移

年度	H4	H9	H14	H19	H24
園児数(5歳児)	944人	899人	817人	661人	446人

2 公立保育所について

(歴史的経緯)

本市における公立保育所の歴史は、大正13年、大字新町（後に外堀）に桑名愛児園が設立されたのが始まりである。その後、昭和22年に児童福祉法が制定されたのを機に、厚生館保育所が設立され、以降65年の間に旧市には7園の保育所が開設された。平成16年の1市2町の合併により、多度地区の1園、長島地区の1園が加わり、現在の9園になった。

(公立保育所の特長)

公立保育所では、休日保育や延長保育を実施するなど、保護者の就労形態に対応した保育時間を設定している。また、平成20年の保育所保育指針改訂により、地域における子育て支援が保育所の役割として更に求められたことを受け、子育て支援センターを拠点にあおぞら出前保育、子育て相談を実施するなど、未就園児の子育て支援にも力を入れている。

(児童数)

平成24年5月現在で、認可保育所を利用している児童は2,700人で、年齢別にみると、3歳未満児が792人、3歳児が699人、4歳児が684人、5歳児が525人となっている。

そのうち、公立保育所を利用している児童は、3歳未満児が222人、3歳児が161人、4歳児が177人、5歳児が119人となっている。

(課題)

保育所の利用児童数の推移をみると、平成17年度以降は2,600人前後で推移しており、年齢別では3歳未満児が増加傾向にあり、0～2歳児のニーズの高まりに対しての受け入れ枠が課題になっている。

また、子ども・子育て関連法の成立に伴い、保育所と幼稚園の新しい連携のあり方など、市として新たな対応が求められており、築30年以上経過している施設の老朽化や耐震化への対応と併せて考える必要がある。

3 私立幼稚園について

(歴史的経緯)

私立幼稚園は昭和37年に1園が設置され、昭和57年に2園、昭和60年に1園、平成4年に1園が設置され、現在5園となっている。

(私立幼稚園の特長)

私立幼稚園は、桑名の子どもを育てる就学前施設として公の役割を担い、各園が、建学の精神に基づき、特色ある教育を実施している。

また、年少から年長までの3年保育や教育課程時間外の預かり保育、満3歳児保育を実施するなど、保護者のニーズに対応した取り組みを行い、桑名市の就学前教育の一翼を担っている。

通園については、5園がそれぞれ通園バスを保有し、保護者の希望により園児の送迎を行っている。

(児童数)

平成24年5月現在で、私立幼稚園に通園している園児は、市内在住児で満3歳児が12人、3歳児が310人、4歳児が389人、5歳児が316人となっている。

(課題)

公立幼稚園の月額保育料約1万2千円に対し、私立幼稚園は3万円以上であり、保護者が負担する保育料には違いがある。

市では、現在、保護者の所得状況に応じて経済的負担を軽減等することを目的として、子どもが私立幼稚園に通園している保護者に対し、保育料等を軽減する「就園奨励事業」を国の制度に則って実施している。

このような中、保護者の経済的な事情に関係なく、子どもに通わせたい幼稚園を選択できるような環境のさらなる充実のため、平成24年9月に、私立幼稚園保護者および園関係者より、市議会に、「幼稚園保育料公私間格差是正を求める請願」が提出され、同月採択されている。

また、私立幼稚園における幼稚園教諭の確保も大きな課題となっている。幼稚園教諭の給与は限られた収入の中から支払われるため、年齢を重ねれば自動的にあがるものではなく、公私の教員給与格差も大きい。このような厳しい状況の中、幼稚園教諭をめざす学生は年々減少している。希望する学生が少なく、教員の確保がかなり難しい現状がある。

4 私立保育園について

(歴史的経緯)

私立保育園は昭和23年に1園、昭和30年代に2園、40年代から50年代にかけて12園が設置され、平成に入って新たに2園が設置され、現在、桑名地区に13園、多度地区に2園、長島地区に2園、計17園が設置されている。私立保育園は、公立保育所と同様に子どもの発達保障と保護者の就労支援の役割を担っており、市の委託を受けて保育を実施している。

(私立保育園の特長)

私立保育園では、保護者の就労形態に対応した保育時間を設定し、公立保育所と共に、市の0歳から5歳児までの保育を担っている。各保育園では、器楽演奏、プール活動、異文化に触れるなど独自の特徴を生かした保育を行っている。私立幼稚園同様、ほとんどの保育園が通園バスを保有し、保護者の希望により園児の送迎を行っている。中には、設立当初から行政の要請を受け、通園バスの運行を行っている園もある。

(児童数)

平成24年5月現在で、認可保育所を利用している児童は2,700人で、年齢別にみると、3歳未満児が792人、3歳児が699人、4歳児が684人、5歳児が525人となっている。

そのうち、私立保育園を利用している児童は2,021人で、年齢別にみると、3歳未満児が570人、3歳児が538人、4歳児が507人、5歳児が406人となっている。

(課題)

今後、特に3歳未満児に対する保育ニーズの増加が見込まれる中、対応するためには低年齢児に配置する保育士が規則上必要となるが、その人員の確保が課題となる。

保育士不足の理由の1つに、労働条件の厳しさがある。延長保育へのニーズの高まりを受け、開所時間が長くなり、早朝から夜7時までの勤務となり、保育士の割り振りはするものの、かなりの負担となる。

また、賃金も公立に比べて低く、昇給もあまり期待できない。

こうした状況の中、保育士が集まらずに園児を定員まで受け入れられない場合も生じている。

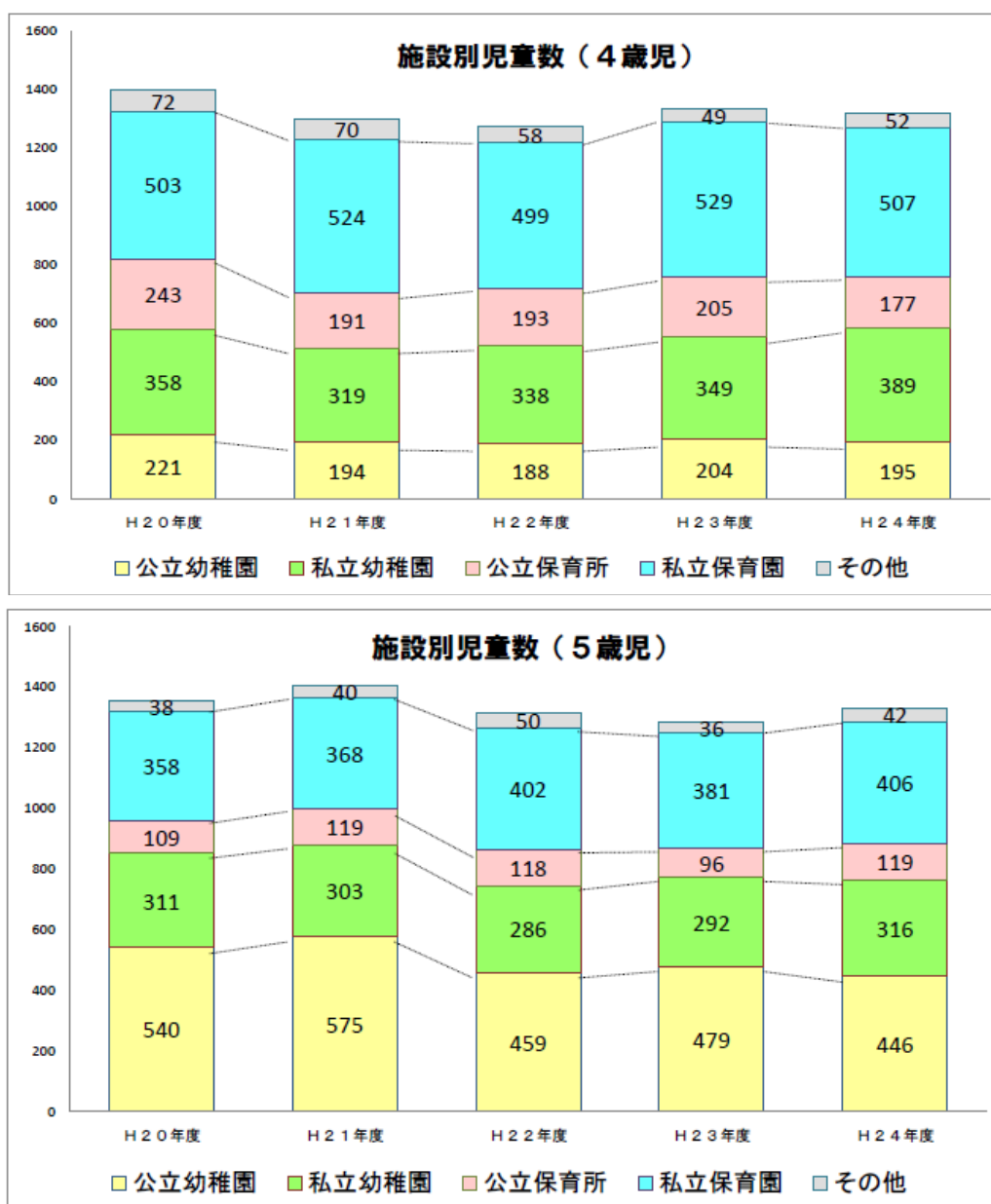
5 私立と公立の共存について

前述のとおり、市内の私立幼稚園・保育園、公立幼稚園・保育所は、桑名の子どもを育てる就学前施設として、共に公の役割を担い、共存してきた歴史がある。

今後も、多様な形態の就学前施設の中から、保護者が、子どもや家庭の状況に応じて、幅広く選択できるような環境づくりを進めていくことが必要である。

また、桑名の就学前教育の充実に向けて、公私立、幼稚園・保育園・保育所を問わず全ての施設と小学校との連携体制を充実させることは、ますます重要であり、具体的な方策について今後検討をしていく必要がある。

【表4】就学前施設別児童数の推移



V 幼児数の将来推計

現在の市域でみた本市における人口は、昭和35年の8.8万人から平成24年には14.2万人になり、この50年あまりの間で1.61倍になっている。

この間の推移をみると、毎年着実に増加を続けてきたが、平成21年以降には一時減少に転じるなど、近年はその増加傾向が鈍化してきている。

また、平成20年に国立社会保障・人口問題研究所が公表した「市区町村別将来人口推計」によると、平成37年以降の人口は13万人台となるなど、本市の人口は今後減少傾向にあることが予測されている。

同じく同研究所が公表した5歳階級別データによると、0歳から4歳の合計は、平成27年に5,416人、平成32年に5,058人、平成37年に4,826人、平成42年に4,680人、平成47年には4,453人と予測されている。【表5】

一方、平成24年の0歳から4歳までの合計人数は、実績値で6,381人となっており、先の推計に比べて、減少度合いとしては緩やかなものとなっている。【表6】

このことから、今後の推移についても、推計値よりは緩やかなものになることが考えられる。

【表5】 桑名市の将来人口推計

(単位：人)

桑名市	2005年 (H17)	2010年 (H22)	2015年 (H27)	2020年 (H32)	2025年 (H37)	2030年 (H42)	2035年 (H47)
合計	138,963	141,011	141,376	140,462	138,525	135,790	132,366
0～4歳	6,750	6,066	5,416	5,058	4,826	4,680	4,453

国立社会保障・人口問題研究所「市区町村別将来人口推計」(平成20年12月公表)

【表6】 平成24年の0から4歳の合計人数 (単位：人)

桑名市	H24 (9月末実績値)
0～4歳	6,381

VI 本市における就学前教育の理念

1 本市のめざす就学前教育

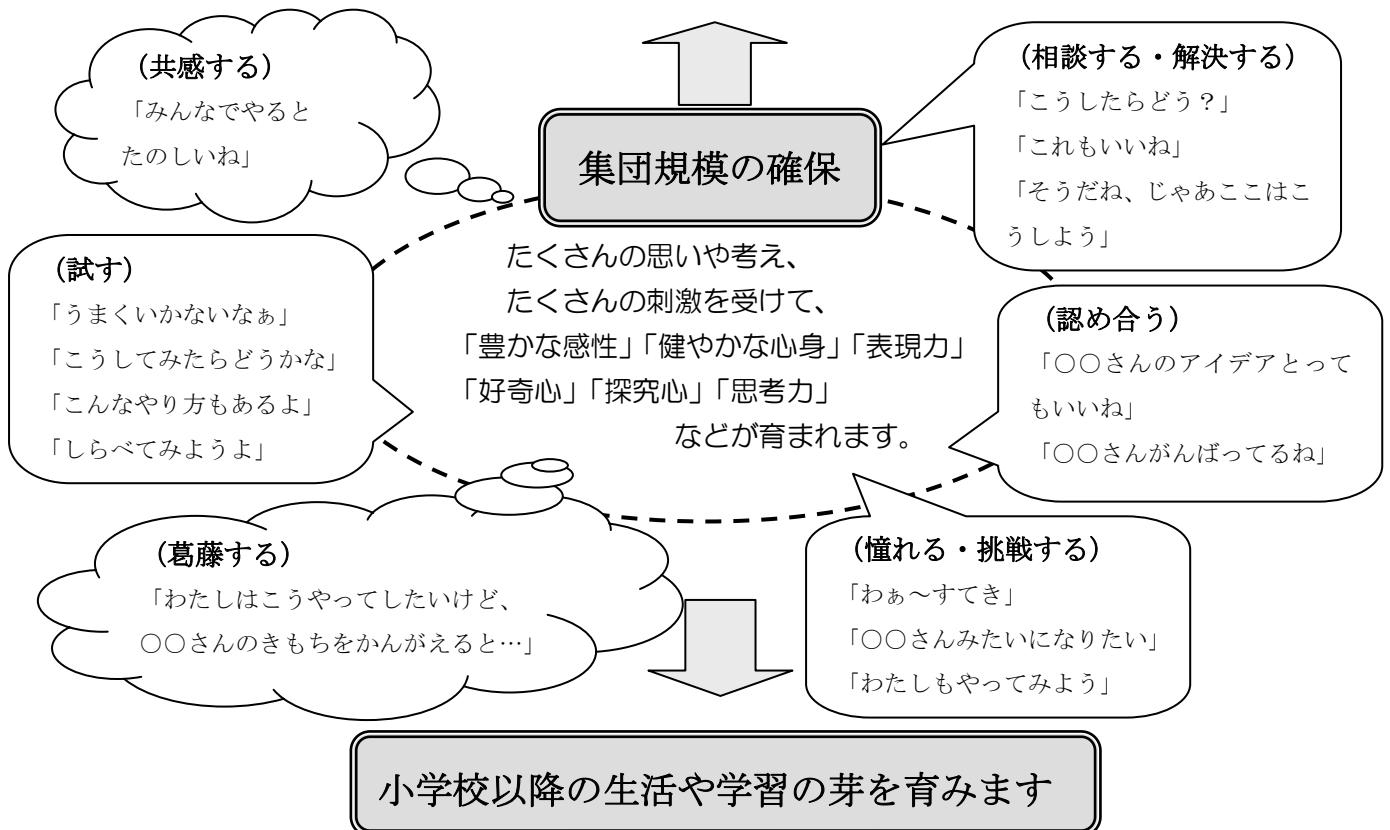
子どもの健やかな育ちを中心におき、幼稚園・保育所・保育園の特性を生かしつつ、次の点を大切にした就学前教育を行います。

- 子どもの笑顔と元気があふれる園づくりをします。
- 遊びを通して学ぶことを大切にし、人としての土台を作ります。
- 保護者と協働して子どもを育てます。
- 一人ひとりに寄り添い、確かな育ちを支えます。

2 就学前施設再編のキャッチフレーズとイメージ図

<就学前施設再編のキャッチフレーズ>

子どもの笑顔と保護者の安心



- 3 「子どもの笑顔と保護者の安心」のために
公私立、幼稚園、保育園、保育所などを問わず、次に掲げる内容を実施し、市の就学前教育のさらなる充実に努める。

1) すべての子どもに質の高い幼児教育の提供

公私立、幼稚園、保育園、保育所などの中から、保護者が幅広く選択できる環境づくりを進め、全ての施設が、未来を担う子どもたちの確かな育ちを支える役割を果たしていく。

2) 継続的な研究実践にもとづく保育・教育の質の向上

各施設がそれぞれの特長を活かした実践的な研究を行い、その成果を交流し合い、市の就学前教育全体の質的向上を図る。

3) 小学校との連携の充実

小学生と園児の交流、職員同士の研修、情報交流や相互理解などを積極的に推進し、公私立、幼稚園、保育園、保育所などを問わず、全ての施設と小学校との連携体制の充実を図る。

4) 特別支援教育の充実

障害の有無にかかわらず、共に育ちあう教育の充実を願って積み重ねられてきた実践を活かし、今後も、専門知識の習得や適切な教育体制を整備し、特別支援教育の充実を図る。

5) 地域や関係機関との積極的な交流

乳幼児の心豊かな育ちのためには、様々な人とのかかわりを保障することが重要である。地域の自然、人材、行事、施設などの地域の資源を積極的に活用し、地域に根ざした園づくりを推進する。

6) 人権教育の推進と全市的な取組みの強化

桑名市人権尊重都市宣言にある、差別のない民主的で明るく住みよい社会を築いていくため、全ての施設で、確かな人権感覚を身につける取組みを推進していく。

7) 全ての家庭を対象とした子育て支援の充実

子どもと子育て家庭をとりまく環境の変化に対応し、通園している幼児や家庭への支援にとどまらず、全ての家庭に対し、子育てを幅広く支援していく。

8) 就学前教育・保育内容の一元化

認定こども園について、公私にわたって研修の機会を設ける。

VII 実施計画の方向性と内容

1 計画の方向性

○公私立、幼稚園、保育園、保育所などを問わず、小学校との連携を図り、学びの連続性を重視した保育を進めます。

【学びの連続性】

○子どもたちの社会性を育むための望ましい集団規模を確保するため、現在24園ある公立幼稚園を再編します。

【公立幼稚園の再編】

○幼稚園と保育所がそれぞれの特性を生かしつつ、子どもの発達を踏まえた一貫性のある、より質の高い教育・保育を提供するため、公私にわたって認定こども園を設置します。

【認定こども園の設置】

○保護者のニーズや社会情勢等に対応し、公私にわたって預かり保育を実施します。

【預かり保育の実施】

○公私立、幼保を問わず、幅広い選択肢の中からそれぞれの家庭が事情や子どもにあった場を選択できるような環境づくりを進めます。

【選択肢の確保】

○計画実現に向けて、中・長期的な視点から段階的に取り組みます。

【将来構想】

2 将来構想 【資料1】

近年の園児数の推移を見たとき、今後も少子化傾向が続くことが予想される。そのような中であって、子どもたちにとって望ましい集団規模である複数年齢複数クラスを確保することを前提とすると、将来的には公立幼稚園を旧市内に3園、多度・長島に各1園の5園とすることが考えられる。

ただし、第1段階として平成30年度までに、24園ある公立幼稚園を11園に再編する。

3 平成30年度までの計画 【資料2】

(1) 公立幼稚園の再編について

- ・幼小中の育ちの連続性や子どもたちの生活圏域を考慮し、再編の基本単位を中学校ブロックとする。
- ・各ブロックの園数は1～2園とし、市全体では4歳児実施園を中心に11園に再編する。
- ・独立園化を図る。
- ・原則既存施設を活用する。

(2) 認定こども園の設置について

- ・本市におけるこれまでの幼保一元化に係る取り組みをさらに継承・発展させることを目的に、認定こども園を設置する。
- ・設置する地域については、公立幼稚園と公立保育所が近隣に設置されている地域や園舎の建て替えなど、設置条件の整っている地域とする。
- ・認定こども園を進めるに当たり、事務局組織の一本化を図る。
- ・公立幼稚園・保育所の職員が相互理解を深め、共に子どもたちにとってよりよい教育・保育を求める観点に立ちながら、協同で進めていく。そのための手法として、合同研修の充実を図るとともに、交流研修・人事交流を推進する。
- ・国の動向に応じて、必要な対策を講じ、継続的に検討する。

(3) 具体的な配置について

配置については、以下の観点をもとに総合的に検討を行った。

- 1クラス20人以上の規模が見込めること
- 4歳児保育を実施していること
- 地理的要件
- 就園率
- 公立保育所の設置状況

- ① 成徳中学校ブロック・・・深谷幼稚園・大成幼稚園 【資料3の①】
- ② 明正中学校ブロック・・・在良幼稚園 【資料3の②】
- ③ 光風中学校ブロック・・・認定こども園 【資料3の③】
- ④ 陽和中学校ブロック・・・認定こども園 【資料3の④】
- ⑤ 正和中学校ブロック・・・七和幼稚園・久米幼稚園 【資料3の⑤】
- ⑥ 陵成中学校ブロック・・・藤が丘幼稚園 【資料3の⑥】
- ⑦ 光陵中学校ブロック・・・大山田北幼稚園 【資料3の⑦】
- ⑧ 多度中学校ブロック・・・認定こども園 【資料3の⑧】
- ⑨ 長島中学校ブロック・・・認定こども園 【資料3の⑨】

(4) 再編に伴う具体的な対応について

①園の選択

通園学区は、再編を行ったブロックの園から順次廃止し、小学校の通学区域に関係なく自由に園を選択できることとする。

②通園方法

園児の送迎については、保護者による送迎を原則とする。ただし、多度地区は現行どおりとし、通園区域が広範囲となる長島地区においては、通園バスによる送迎の方法について、実施の有無も含めて具体的なあり方を検討する。

なお、大山田西幼稚園において実施している通園バスは、光陵中学校ブロックの再編とともに廃止する。

また、分団登園については、実施可能な地区において、引き続き実施する。

③保育時間

原則午前8時30分から午後2時までとする。

④預かり保育

再編に伴い、子どもたちの健やかな育ちを支えるという趣旨から、子育て支援を目的として、預かり保育を実施する。

対 象：公立幼稚園の在園児のうち希望者

実施日：平日週4日程度

ただし、夏休みなど長期休業中は、原則実施せず、5日程度の登園日を設ける。

時 間：平日保育時間終了時から午後4時まで

ただし、夏休みなど長期休業中の登園日は8時30分から12時まで

料 金：有料

⑤閉園となる幼稚園舎の活用

再編に伴い、閉園となる幼稚園舎については、放課後児童クラブ（学童クラブ）や未就園児の子育て広場など、当該地域のニーズに則したかたちで有効活用を図る。

⑥再編後の園の整備

再編後、各中学校ブロックの拠点となる公立幼稚園については、必要に応じて施設の増改築や駐車場の整備を行うなど、施設の充実を図る。

⑦再編後の園の名称

再編により近隣園と統合する幼稚園については、各中学校ブロックにおける拠点園になることに鑑み、幼稚園名は改名する。

⑧4歳児定員

旧市においては、4歳6園総数180人の枠組みで定員を設定する。

(5) 年次計画について

実施年度	再編実施ブロック
平成25年度 ～ 平成26年度	地域説明会の開催 ・中学校ブロック別説明会 ・幼稚園別説明会 等
平成27年度	長島中学校ブロック (公立幼稚園の再編) 成徳中学校ブロック 明正中学校ブロック
平成28年度	陵成中学校ブロック 光陵中学校ブロック
平成29年度	長島中学校ブロック (認定こども園) 多度中学校ブロック (認定こども園) 光風中学校ブロック (認定こども園)
平成30年度	陽和中学校ブロック (認定こども園) 正和中学校ブロック

※認定こども園については、ニーズ調査等を実施し、その結果によって検討する。

－資料編－

【資料1】 将来構想における公立幼稚園の配置（イメージ）

【資料2】 11園の具体的な配置について

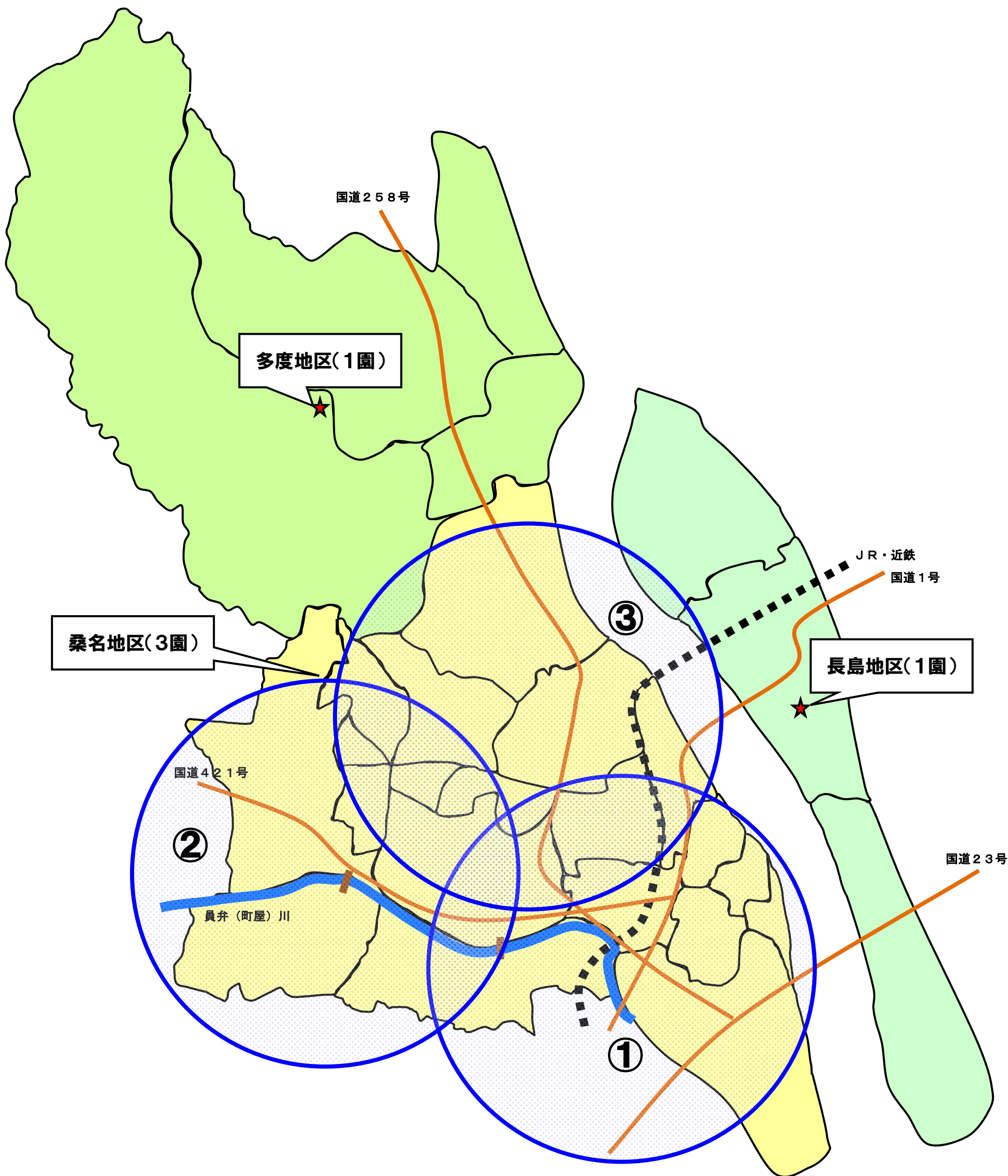
【資料3①～⑨】 中学校ブロック別再編計画

【資料4】 11園に再編時の配置・対象児・保育時間等について

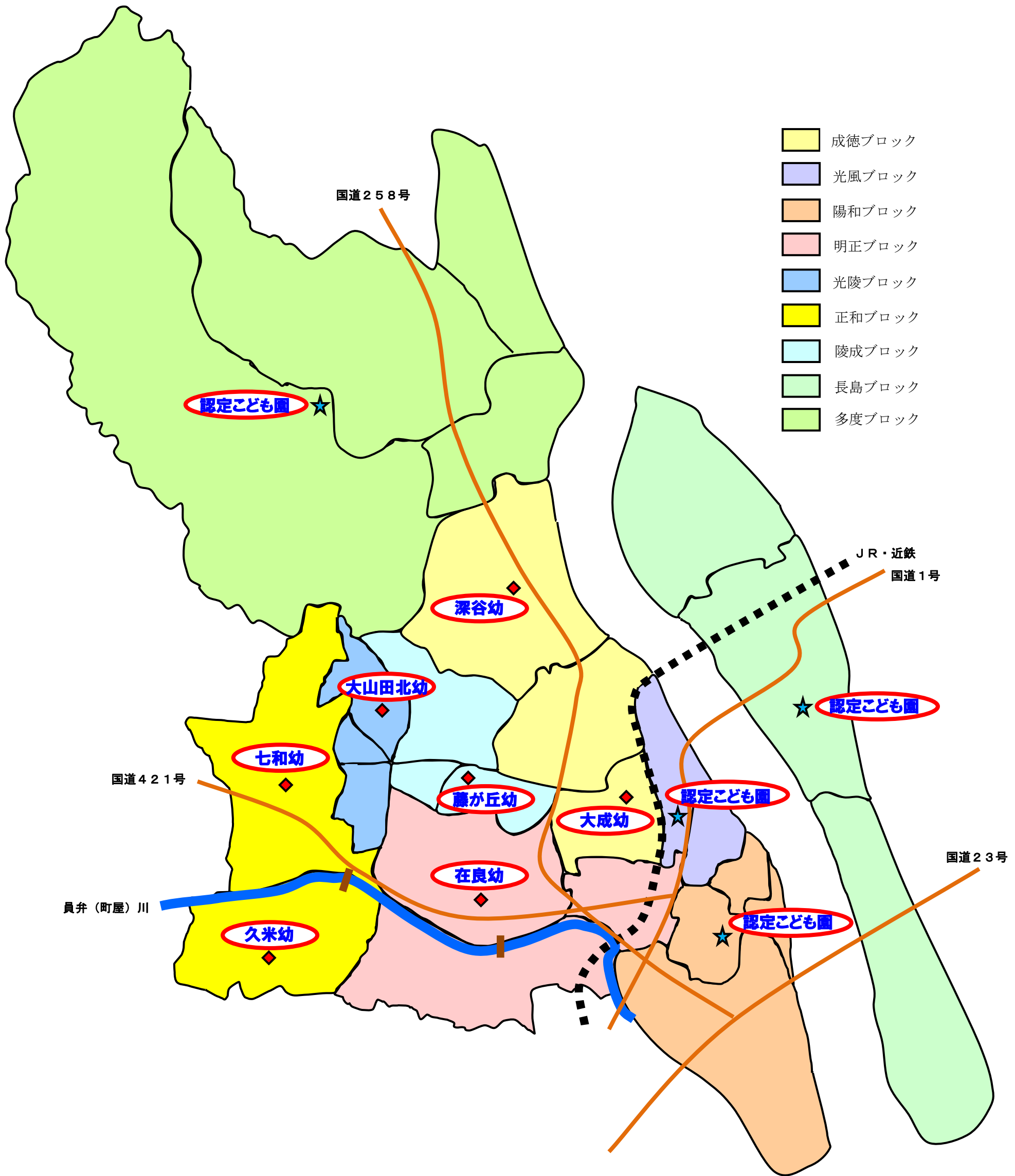
【資料5】 小・中学校区別 年齢別人数（平成25年4月）

【資料6】 公立幼稚園別住基数・園児数・就園率（5歳児）

将来構想における公立幼稚園の配置（イメージ）



11園の具体的な配置について

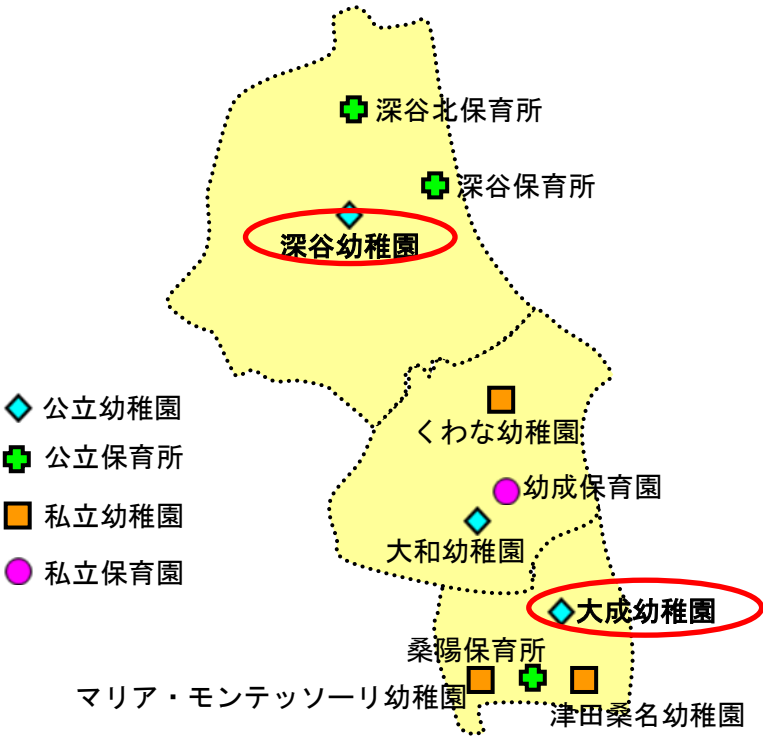


①成徳中学校ブロック

実績園児数(H21～25年度)

	H21 年度		H22 年度		H23 年度		H24 年度		H25 年度	
	4 歳児	5 歳児	4 歳児	5 歳児	4 歳児	5 歳児	4 歳児	5 歳児	4 歳児	5 歳児
大成幼稚園	24	26	14	38	22	24	26	29	19	38
大和幼稚園	休園		休園		休園		休園		休園	
深谷幼稚園		25		21		27		22		23

H25	H26	H27	H28	H29
17	19	18	27	18



成徳中学校ブロックの公立幼稚園は、大成幼稚園、大和幼稚園、深谷幼稚園の3園がある。

大成幼稚園は、4歳児の過去5年間の平均園児数が21人、5歳児が27人となっている。4歳児は20人を下回る年があるものの、5歳児については例年20人以上の園児が在籍しており、今後も同程度の園児数は見込めるものと考えられる。

大和幼稚園は、平成20年度より休園中であることから、希望者は大成幼稚園へ通園している。今後の対象幼児数は20名程度に留まっている。

深谷幼稚園は、平均園児数が27人で、平均就園率は7割を超えている。また、保育所から幼稚園、小学校へという流れが定着しており、今後も同程度の園児数が見込めるものと考えられる。

<再編計画>
 成徳中学校ブロックの公立幼稚園は、大成幼稚園と深谷幼稚園の2園とし、大成幼稚園については4・5歳児の2年保育を実施し、深谷幼稚園については5歳児の1年保育とする。

②明正中学校ブロック

実績園児数(H21～25年度)

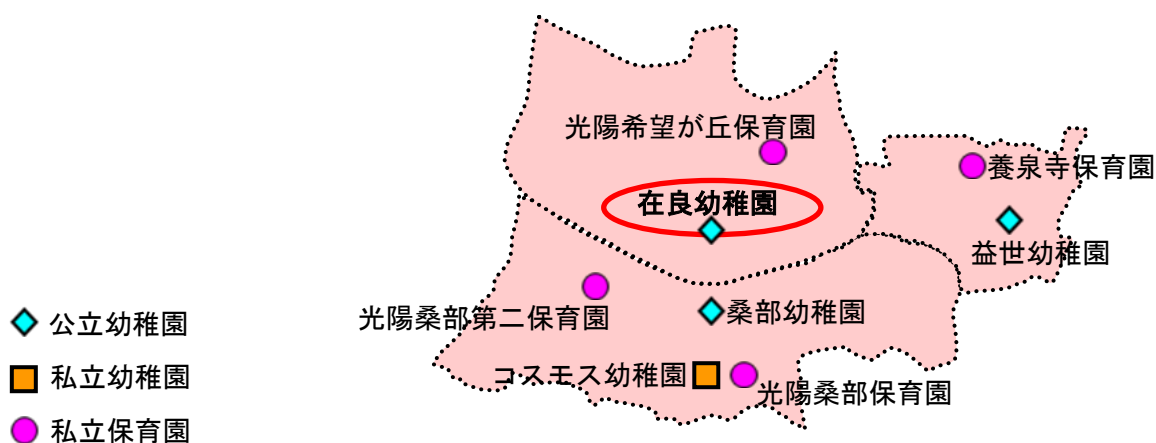
	H21年度		H22年度		H23年度		H24年度		H25年度	
	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児
在良幼稚園	26	26	20	26	26	21	16	29	18	13
益世幼稚園		30		18		12		13		15
桑部幼稚園		16		20		12		12		6

明正中学校ブロックの公立幼稚園は、在良幼稚園、益世幼稚園、桑部幼稚園の3園がある。

在良幼稚園は、4歳児の過去5年間の平均園児数は23人、5歳児は27人となっている。5歳児については、近年やや減少傾向にある。

益世幼稚園は、平均園児数が19人となるなど、近年の園児数が10人台となっている。就園率も減少傾向が見られ、園児数としては今後も同様の傾向が続くものと考えられる。

桑部幼稚園は、平均園児数は16人である。対象幼児数が減少していることもあり、園児数については今後も減少傾向が続くものと考えられる。



<再編計画>

明正中学校ブロックの公立幼稚園は在良幼稚園の1園とし、同園においては4・5歳児の2年保育を実施する。

③光風中学校ブロック

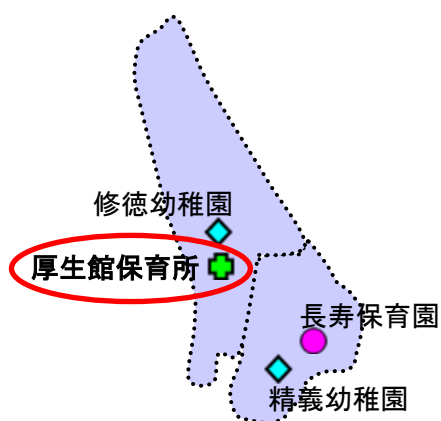
実績園児数(H21～25年度)

	H21年度		H22年度		H23年度		H24年度		H25年度	
	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児
精義幼稚園	休園			20		9		9		6
修徳幼稚園	15	17	21	22	20	20	18	19	13	19

光風中学校ブロックの公立幼稚園は、修徳幼稚園、精義幼稚園の2園がある。

精義幼稚園は、園児数の減少によって、平成21年度は休園となっている。また、平成20年度には6人、23・24年度には9人となるなど、園児数が10人を下回る状況となっている。対象幼児数は今後も30人程度に留まることから、園児数としては今後も同様の傾向が続くものと考えられる。

修徳幼稚園は、4歳児の過去5年間の平均園児数は17人、5歳児は20人となっている。例年、各クラス20人程度の園児が在籍しており、園児数としては今後も同様の傾向が続くものと考えられる。



- ◆ 公立幼稚園
- 公立保育所
- 私立保育園

<再編計画>

光風中学校ブロックの公立幼稚園の再編に伴い、厚生館保育所を中心とした認定こども園を設置する。

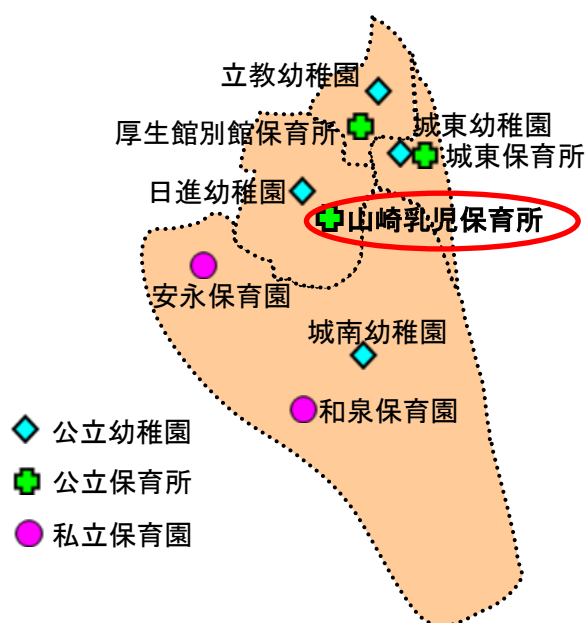
④陽和中学校ブロック

実績園児数(H21～25年度)

	H21年度		H22年度		H23年度		H24年度		H25年度	
	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児
立教幼稚園	18	17	18	11	18	18	15	11	25	10
城東幼稚園		14		2		15	休園		休園	
日進幼稚園		18		11		15		22		17
城南幼稚園		23		15		15		13		16

城東幼稚園対象児童数

H25	H26	H27	H28	H29
7	13	11	17	11



陽和中学校ブロックの公立幼稚園は、立教幼稚園、城東幼稚園、日進幼稚園、城南幼稚園の4園がある。

立教幼稚園は、4歳児の過去5年間の平均園児数が17人、5歳児が15人となっており、近年の園児数は各年齢とも10人台に留まっている。

城東幼稚園は、平均園児数が12人であり、今後の対象園児数は10人程度に留まっている。また平成24年度は休園している。

日進幼稚園は、平均園児数が19人となっている。

城南幼稚園は、平均就園率が2割台で市内では低い水準に留まっており、平均園児数は16人となっている。また、近年、園児数は10人台に留まっている。

このように、各園とも、今後も同様の傾向が続くものと考えられる。

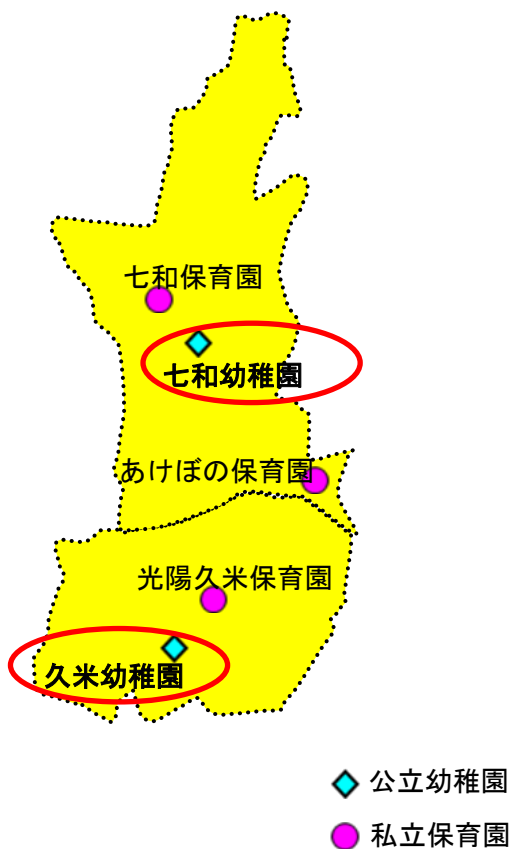
<再編計画>

陽和中学校ブロックの公立幼稚園の再編に伴い、山崎乳児保育所を中心とした認定こども園を設置する。

⑤正和中学校ブロック

実績園児数(H21～25年度)

	H21 年度		H22 年度		H23 年度		H24 年度		H25 年度	
	4 歳児	5 歳児	4 歳児	5 歳児	4 歳児	5 歳児	4 歳児	5 歳児	4 歳児	5 歳児
七和幼稚園		45		48		43		40		36
久米幼稚園		40		24		29		24		16



正和中学校ブロックの公立幼稚園は、七和幼稚園、久米幼稚園の2園がある。

七和幼稚園は、過去5年間の平均園児数が43人であり、平均就園率も6割近くとなるなど、市内では高い水準となっている。地域的には保育園から幼稚園、小学校へという流れが定着しており、今後も同程度の園児数が見込めるものと考えられる。

久米幼稚園は、平均園児数が30人であるが、近年、園児数は20人台となってきている。園児数としてはやや減少傾向にあると考えられる。

<再編計画>
正和中学校ブロックの公立幼稚園については、現状どおり七和幼稚園、久米幼稚園の2園とし、両園においては5歳児の1年保育を実施する。

⑥陵成中学校ブロック

実績園児数(H21～25年度)

	H21年度		H22年度		H23年度		H24年度		H25年度	
	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児
大山田東幼稚園		39		24		44		33		21
大山田南幼稚園		23		14		16		14		10
藤が丘幼稚園	30	30	22	23	30	24	29	22	21	34

陵成中学校ブロックの公立幼稚園は、大山田東幼稚園、大山田南幼稚園、藤が丘幼稚園の3園がある。

大山田東幼稚園は、校区である陽だまりの丘地区への入居者数の増加もあり、対象幼児数としては例年、100人を超えている。過去5年間の平均園児数は35人となっているが、園児数は減少傾向にある。

大山田南幼稚園は、平均園児数が17人で、近年の園児数は10人台となっており、今後も同様の傾向が続くものと考えられる。

藤が丘幼稚園は、平均園児数は4歳児が27人、5歳児が26人となっており、今後も同程度の園児数で推移するものと考えられる。



<再編計画>

陵成中学校ブロックの公立幼稚園については、藤が丘幼稚園の1園とし、同園においては4・5歳児の2年保育を実施する。

⑦光陵中学校ブロック

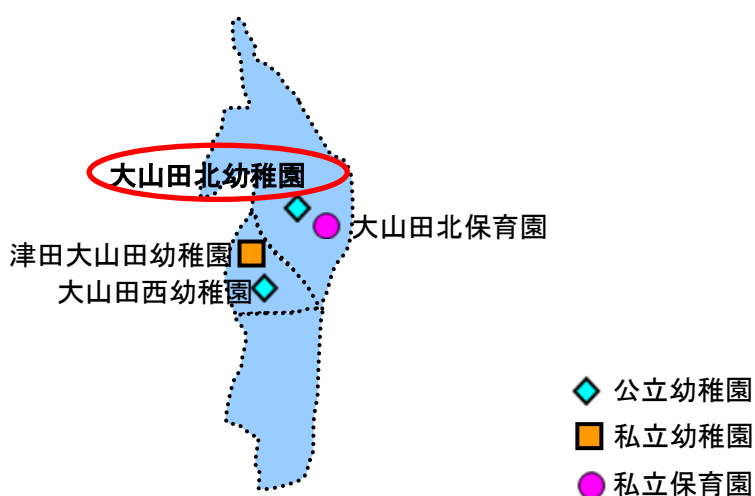
実績園児数(H21～25年度)

	H21年度		H22年度		H23年度		H24年度		H25年度	
	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児
大山田北幼稚園	27	28	42	15	46	19	48	24	47	30
大山田西幼稚園		35		25		28		32		21

光陵中学校ブロックの公立幼稚園は、大山田北幼稚園、大山田西幼稚園の2園がある。

大山田北幼稚園は、4歳児の過去5年間の平均園児数が45人、5歳児が20人となっている。4歳児については、23年度も複数のクラスを設ける状況になっており、園児数は、今後も同程度で推移するものと考えられる。

大山田西幼稚園は、大山田西小学校区と星見ヶ丘小学校区の幼児が通園している。平均園児数は29人であるが、星見ヶ丘小学校区の対象幼児が年々減少していることもあり、園児数としてはやや減少傾向にある。



<再編計画>

光陵中学校ブロックの公立幼稚園については、大山田北幼稚園の1園とし、同園においては4・5歳児の2年保育を実施する。

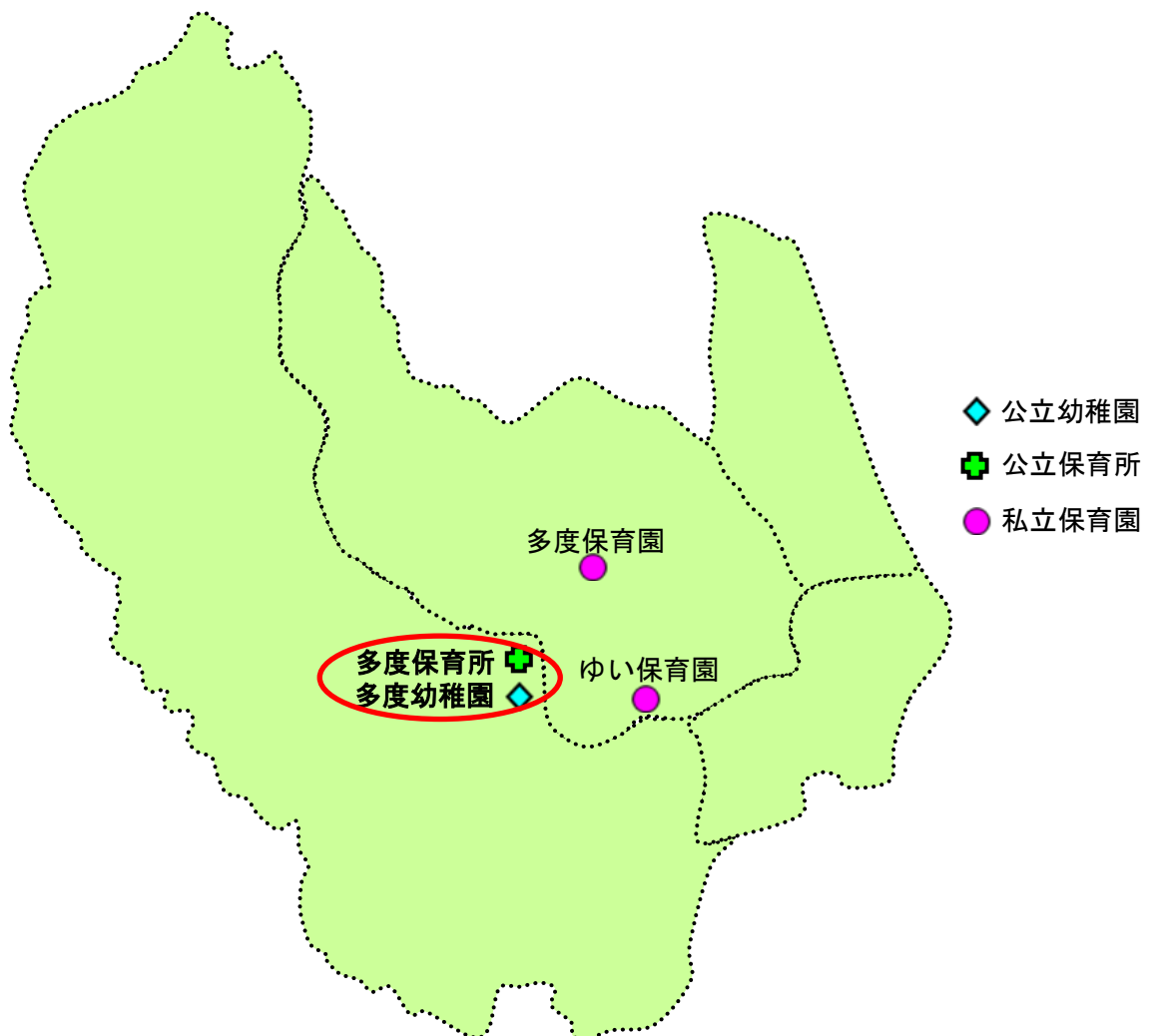
⑧多度中学校ブロック

実績園児数(H21～25年度)

	H21 年度		H22 年度		H23 年度		H24 年度		H25 年度	
	4 歳児	5 歳児	4 歳児	5 歳児	4 歳児	5 歳児	4 歳児	5 歳児	4 歳児	5 歳児
多度幼稚園		57		31		37		37		23

多度中学校ブロックの公立幼稚園は、多度幼稚園の1園である。

多度幼稚園は、過去5年間の平均園児数が39人であるが、近年やや減少傾向にある。



<再編計画>

多度中学校ブロックの多度幼稚園と多度保育所で認定こども園を設置する。

⑨長島中学校ブロック

実績園児数(H21～25年度)

	H21年度		H22年度		H23年度		H24年度		H25年度	
	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児	4歳児	5歳児
長島北部幼稚園	15	10	7	14	9	6	8	9	9	9
長島中部幼稚園	24	32	22	23	20	23	16	21	14	21
中部第二幼稚園	6	13	9	8	6	10	6	4	0	6
伊曾島幼稚園	9	11	13	8	7	14	13	7	7	12

長島中学校ブロックの公立幼稚園は、長島北部幼稚園、長島中部幼稚園、長島中部第二幼稚園、伊曾島幼稚園の4園がある。

長島中学校ブロックの4園では、いずれも4・5歳児2年保育を実施している。

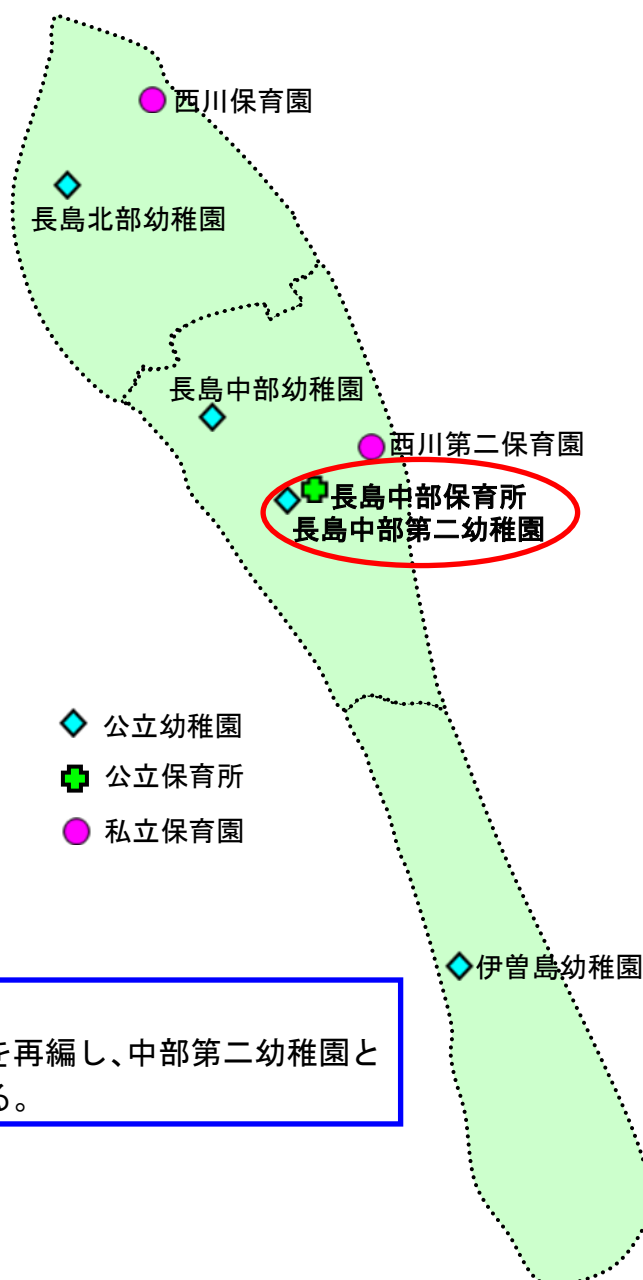
長島北部幼稚園は、過去5年間の平均園児数は、4・5歳児ともに10人である。

長島中部幼稚園については、4歳児の平均園児数が22人、5歳児が26人となっており、近年も20人以上の園児が在籍している。

長島中部第二幼稚園は、4歳児の平均園児数が8人、5歳児が10人である。

伊曾島幼稚園は、4歳児の平均園児数が11人、5歳児が12人である。

今後の園児数は、各園とも小規模な人数で推移するものと考えられる。



<再編計画>

長島中学校ブロックの公立幼稚園4園を再編し、中部第二幼稚園と長島中部保育所で認定こども園を設置する。

11園に再編時の配置・対象児・保育時間等について

資料4

○幼稚園（7園）

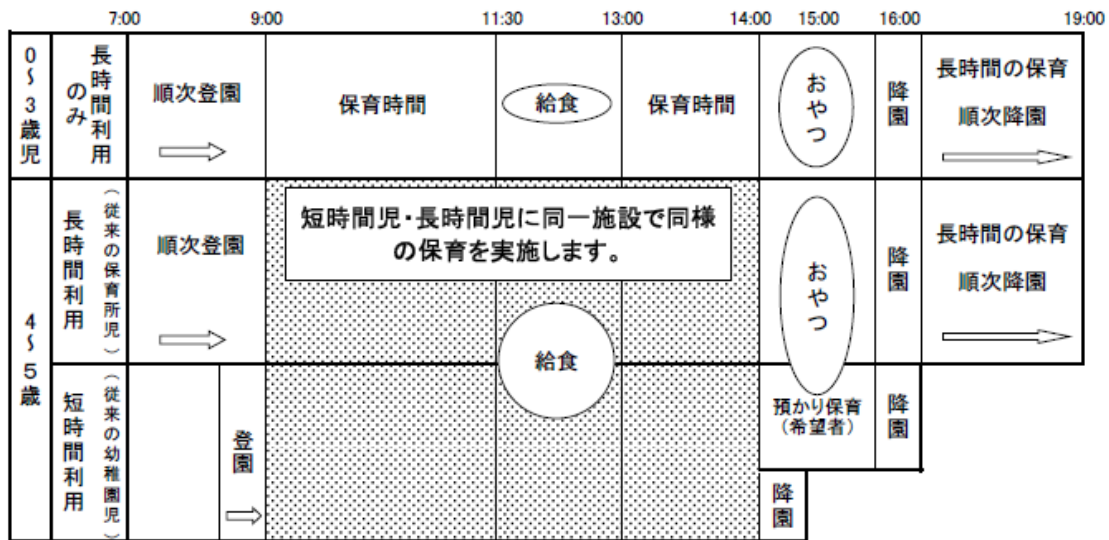
ブロック名	園名 (名称は今後検討)	対象児	保育時間	特記事項
成徳	大成幼稚園	4・5歳児	8:30~14:00	保護者送迎（大成小学校区の5歳児は分団登園可） 預かり保育（希望者）
	深谷幼稚園	5歳児	8:30~14:00	分団登園（深谷小学校区）
明正	在良幼稚園	4・5歳児	8:30~14:00	保護者送迎（在良小学校区の5歳児は分団登園可） 預かり保育（希望者）
正和	七和幼稚園	5歳児	8:30~14:00	分団登園（七和小学校区）
	久米幼稚園	5歳児	8:30~14:00	分団登園（久米小学校区）
陵成	藤が丘幼稚園	4・5歳児	8:30~14:00	保護者送迎（藤が丘小学校区の5歳児は分団登園可） 預かり保育（希望者）
光陵	大山田北幼稚園	4・5歳児	8:30~14:00	保護者送迎（大山田北小学校区の5歳児は分団登園可） 預かり保育（希望者）

○認定こども園（4園）

ブロック名	園名 (名称は今後検討)	対象児	保育時間		特記事項
			短時間児 4~5歳児	長時間児 0~5歳児	
光風	厚生館保育所	0~5歳児	8:30~14:00	7:00~19:00	保護者送迎 預かり保育（短時間児の希望者）
陽和	山崎乳児保育所	0~5歳児	8:30~14:00	7:00~19:00	保護者送迎 預かり保育（短時間児の希望者）
多度	多度保育所 多度幼稚園	0~5歳児	8:30~14:00	7:00~19:00	保護者送迎（多度地区でバスによる送迎実施） 預かり保育（短時間児の希望者）
長島	長島中部保育所 長島中部第二幼稚園	0~5歳児	8:30~14:00	7:00~19:00	保護者送迎（長島地区でバスによる送迎検討） 預かり保育（短時間児の希望者）

※長時間児の保育時間は、保護者の勤務時間に応じた時間となります。

<認定こども園の一日の流れ(イメージ)>



小・中学校区別 年齢別人数(平成25年4月現在)

資料5

	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	総計
	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	
	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	
日進小	57	54	49	54	56	50	46	50	55	49	53	57	46	51	55	782
精義小	41	39	28	36	31	36	39	29	35	36	36	34	40	45	33	538
立教小	34	19	29	28	26	29	18	26	25	23	21	18	28	14	24	362
城東小	15	17	16	15	18	18	12	19	6	7	12	11	18	9	12	205
益世小	81	68	66	61	70	65	61	52	63	63	53	63	60	54	57	937
修徳小	76	82	70	65	67	52	69	57	50	65	50	60	55	61	50	929
大成小	81	83	82	75	58	72	83	68	73	83	62	84	88	96	96	1,184
桑部小	61	47	43	65	42	40	44	40	44	36	40	47	43	42	39	673
在良小	76	68	68	60	70	55	63	70	66	53	64	48	64	58	54	937
七和小	77	77	73	66	66	73	72	81	71	62	61	76	54	56	61	1,026
久米小	103	90	82	91	71	84	71	74	71	56	51	57	54	50	54	1,059
深谷小	51	38	42	30	52	34	30	35	26	25	25	27	29	25	15	484
城南小	83	77	92	80	77	68	69	69	80	85	91	98	77	90	88	1,224
大和小	23	22	18	31	15	26	24	18	21	17	19	18	27	18	21	318
大山田東小	70	96	98	107	113	140	131	134	128	148	131	146	117	128	84	1,771
大山田北小	49	76	67	63	57	84	80	58	75	81	69	89	74	88	67	1,077
大山田西小	26	29	23	20	23	19	17	21	23	17	21	18	22	19	14	312
大山田南小	65	53	53	57	47	51	31	31	30	28	24	16	19	13	16	534
藤が丘小	80	72	63	68	64	75	56	61	51	69	59	66	64	77	79	1,004
星見ヶ丘小	112	146	126	109	116	90	89	90	84	71	61	58	56	73	66	1,347
多度東小	16	10	8	10	13	11	8	10	16	6	14	8	7	10	9	156
多度中小	50	68	71	78	51	73	77	72	75	94	82	84	89	79	70	1,113
多度北小	13	19	13	15	12	16	17	17	13	13	12	15	9	14	11	209
多度青葉小	22	27	12	25	15	22	10	17	17	16	9	19	13	13	10	247
長島北部小	31	24	25	21	20	27	29	19	21	30	27	28	22	14	15	353
長島中部小	118	94	89	110	79	80	79	65	87	73	60	80	82	79	77	1,252
伊曾島小	45	39	35	35	37	30	30	21	26	22	23	31	23	22	22	441
小学校計	1,556	1,534	1,441	1,475	1,366	1,420	1,355	1,304	1,332	1,328	1,230	1,356	1,280	1,298	1,199	20,474

	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	総計
	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	
	14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳	
成徳中	128	106	115	108	108	106	108	91	86	86	78	93	117	88	91	1,509
明正中	181	163	158	165	161	136	139	144	157	141	142	150	161	133	130	2,261
光風中	171	173	145	144	127	123	149	130	134	165	130	145	137	172	140	2,185
陽和中	167	146	160	154	157	150	130	141	140	135	146	154	140	144	161	2,225
正和中	212	193	180	186	166	187	175	182	169	133	142	156	128	132	137	2,478
陵成中	215	221	214	232	224	266	218	226	209	245	214	228	200	218	179	3,309
光陵中	187	251	216	192	196	193	186	169	182	169	151	165	152	180	147	2,736
多度中	101	124	104	128	91	122	112	116	121	129	117	126	118	116	100	1,725
長島中	194	157	149	166	136	137	138	105	134	125	110	139	127	115	114	2,046
中学校計	1,556	1,534	1,441	1,475	1,366	1,420	1,355	1,304	1,332	1,328	1,230	1,356	1,280	1,298	1,199	20,474

公立幼稚園別住基数・園児数・就園率(5歳児)

資料6

園名	H21	H22	H23	H24	H25	
1 日進幼稚園	園児数	18	11	15	22	17
	住基数	48	44	47	55	49
	就園率	38%	25%	32%	40%	35%
2 精義幼稚園	園児数	0	20	9	9	6
	住基数	42	43	26	34	36
	就園率	0%	47%	35%	26%	17%
3 立教幼稚園	園児数	17	11	18	11	10
	住基数	27	20	26	25	23
	就園率	63%	55%	69%	44%	43%
4 城東幼稚園	園児数	14	2	15	0	0
	住基数	16	11	18	8	7
	就園率	88%	18%	83%	0%	0%
5 益世幼稚園	園児数	30	18	12	13	15
	住基数	68	59	55	58	63
	就園率	44%	31%	22%	22%	24%
6 修徳幼稚園	園児数	17	22	20	19	19
	住基数	49	68	57	57	65
	就園率	35%	32%	35%	33%	29%
7 大成幼稚園	園児数	26	38	24	29	38
	住基数	82	74	65	82	83
	就園率	32%	51%	37%	35%	46%
8 桑部幼稚園	園児数	16	20	12	12	6
	住基数	44	40	35	44	36
	就園率	36%	50%	34%	27%	17%
9 在良幼稚園	園児数	26	26	21	29	13
	住基数	56	57	67	67	53
	就園率	46%	46%	31%	43%	25%
10 七和幼稚園	園児数	45	48	43	40	36
	住基数	78	75	81	71	62
	就園率	58%	64%	53%	56%	58%
11 久米幼稚園	園児数	40	24	29	24	16
	住基数	83	66	70	72	56
	就園率	48%	36%	41%	33%	29%
12 深谷幼稚園	園児数	25	21	27	22	23
	住基数	33	31	35	29	25
	就園率	76%	68%	77%	76%	92%
13 城南幼稚園	園児数	23	15	15	13	16
	住基数	72	84	76	79	85
	就園率	32%	18%	20%	16%	19%
14 大和幼稚園	園児数	0	0	0	0	0
	住基数	26	30	23	20	17
	就園率	0%	0%	0%	0%	0%
15 大山田東幼稚園	園児数	39	24	44	33	21
	住基数	124	113	130	122	148
	就園率	31%	21%	34%	27%	14%
16 大山田北幼稚園	園児数	28	15	19	24	30
	住基数	74	71	56	72	81
	就園率	38%	21%	34%	33%	37%
17 大山田西幼稚園	園児数	35	25	28	32	21
	住基数	115	99	105	106	88
	就園率	30%	25%	27%	30%	24%
18 大山田南幼稚園	園児数	23	14	16	14	10
	住基数	51	25	29	24	28
	就園率	45%	56%	55%	58%	36%
19 藤が丘幼稚園	園児数	30	23	24	22	34
	住基数	70	56	59	52	69
	就園率	43%	41%	41%	42%	49%
旧市合計	住基数	1158	1066	1060	1077	1074
	園児数	452	377	391	368	331
	就園率	39.0%	35.4%	36.9%	34.2%	30.8%

園名	H21	H22	H23	H24	H25	
20 多度幼稚園	園児数	57	31	37	37	23
	住基数	120	108	110	118	129
	就園率	48%	29%	34%	31%	18%

園名	H21	H22	H23	H24	H25	
21 長島北部幼稚園	園児数	10	14	6	9	9
	住基数	32	32	18	22	30
	就園率	31%	44%	33%	41%	30%
22 長島中部幼稚園	園児数	32	23	23	21	21
	住基数	52	56	57	63	55
	就園率	62%	41%	40%	33%	38%
23 中部第二幼稚園	園児数	13	8	10	4	6
	住基数	21	23	16	23	18
	就園率	62%	35%	63%	17%	33%
24 伊曾島幼稚園	園児数	11	8	14	7	12
	住基数	28	30	23	26	22
	就園率	39%	27%	61%	27%	55%
長島町合計	住基数	133	141	114	134	125
	園児数	66	53	53	41	48
	就園率	49.6%	37.6%	46.5%	30.6%	38.4%

全市合計	住基数	1411	1315	1284	1329	1328
	園児数	575	461	481	446	402
	就園率	40.8%	35.1%	37.5%	33.6%	30.3%

※住基数…各地区に在住する人数

※就園率…園児数÷住基数で算出した割合

桑名市就学前施設再編実施計画

平成25年6月

発行 桑名市教育委員会 教育総務課学校・園再編推進室
桑名市 保健福祉部子ども家庭課
〒511-8601 桑名市中央町二丁目37番地
電話 0594-24-1354 Fax 0594-24-1358